

自昭和二十年八月三日  
至昭和二十一年八月三日



陣中日誌 (第七號)

步兵第三十六聯隊第七大隊

五〇〇

昭和二十一年五月二十九日

陣中日誌(第七號)目次

北大東島守備(第六期戰備)

自一月一日  
至一月五日

主要行事

一 四方拜

一月六日

二 第一次乙號戰備

一月二日

三 第二次乙號(第一次丙號)戰備

一月三日

四 勅諭奉讀式

一月四日

五 第二次丙號戰備

自一月四日  
至一月五日

六 島民教育查閱

一月六日

七 第一回北大東島地区隊演習

自一月七日  
至一月八日

八 担架修業兵檢閱

一月十日

九 警備會報

一月十日

十 大隊被服檢査

自一月十五日  
至一月十六日

十一 第三次丙號戰備

一月十一日

十二 担架手修業兵檢閱

一月十五日

三 第四次所獲戰備	一月二十日
四 瓦斯修業兵檢閱	一月二十二日
五 第五次所獲戰備	一月二十三
六 第六期島内巡視	自一月二十五日 至一月二十七日
七 第一回研究演習	一月二十八日
八 第二回研究演習	一月二十九日

附表

一 第六大隊將校職員表

二 第六期中旬陣地進捗状況

三 島内巡視講評

一月一日  
於此大東島  
行事

作  
情電  
命令  
平日令

所人  
見員

一 四方拜。九三〇。全員學校々度ニ集合進拜式ヲ行フ  
儀式終了後休養ス

二 〇七三〇—〇八三〇。十二種高角砲試射(九砲色)

三 一〇〇〇ヨリ避海民合同祝宴ヲ舉グ(成 處)

本日〇九三〇一機沖繩本島ニ來襲セリ

一 第六期戰備ヲ別紙指示ニ依リ實施スヘシ

陸軍中尉 小酒 升 孝 三

二 補陸軍航空官學校生徒隊附(十二月三十日附)

陸軍中尉 松田 忠

第三歩兵砲小隊長ヲ命ス

本日ノ人員大隊長以下一〇五四名(行方不明三四)軍大ハ  
皇紀二千六百五十年、新春ヲ大平洋、最前線ニ迎ヘ野火愈々  
覺悟ヲ新ニ必勝ヲ誓フ

今又本島戰事準備之所期、如ク進取ニ必勝ヲ期スヘシトモ

年頭ニ當リ各、陣地ノ増強ト訓練ヲ徹シ以テ北大東島守  
備ノ完備ヲ期ヤントス

前日  
北大東島  
行

一各隊陣地構築作業  
一昭和二十年度第一次採用幹部候補生身体検査〇九〇〇日  
病危ニ至リ莫クス

敵機来襲

北哨電第三號 一四三五  
二日一四一五敵機一機三〇〇度ヨリ本島上空ニ侵入高度四〇〇〇

消息

敵部隊之ト交戦一四一五之ヲ要退セリ  
一四一五一機未襲後四中連絡北西高度一五〇〇

命令

一四一五上空警報發令 大東島全地已  
二、敵一機未襲 高度三〇〇〇一三〇〇本島後方ヲ行

作

北地作中第一號  
北大東島北地限命令  
一四一五  
一四一五

第六期戰情ニ関スル指示

一九二二三一  
頃 水 部 隊

一期間

一月一日ヨリ一月末日

二教育

主トシテ本島防禦上重要ナル事項  
橋頭堡並ニ橋頭堡ヲ構成セントスル敵ニ對スル挺進新込數個組及小部隊ヲ略々完全ニ  
修得セシム

三對戰車戰斗(主トシテ由海攻襲)

對火焰動作(主トシテ由攻手銃眼ニ對スル防禦要領並ニ對火焰水處置ヲ會得)

四木際戰斗

五指揮連絡(中小隊)

六夜間戰斗(地形ノ暗識ト相俟ツテ暗夜ト雖モ能ク進問ノ如ク戰斗ヲ實行シ得ルニシテ)

七日ヲヨリ第一回北大東島地上演習  
編考  
一木演習ハ小隊長以上見學  
二演習后引續テ三時間研究ヲ行フ  
三狀況ニ依リ変更スルニトフレシム

- 七日 午前 第五中隊 第一項
- 午後 第八中隊 第二項
- 主日 午前 第七中隊 第五項
- 午後 第七中隊 第四項

自一月三十一日  
至一月三十一日 間綜合訓練週問

三築  
全 般 成

主トシテ指揮觀察監視掩蔽 待期掩蔽部及交通壕(幹線交通壕ヲ各陣地ニ通スル交通  
ニ通信施設ノ増設強ク)

一 本日一四〇一四二五南北、沖大東島に敵四各系襲来り  
 二 一四二五大東島全地に空襲警報發令せらる  
 三 地已隊ハ電令ニ依リ一四二五乙砲戰備ニ移行セントス  
 四 各隊ハ直ニ乙砲戰備ニ入ルヘシ  
 五 所甲隊ハ約半數ヲ以テ對北射撃ニ任スヘシ  
 五 余ハ黃金山ニ在リ

北大東島地区隊長 須永少佐

情電

一 一六八空襲警報解除  
 二 大東島守備隊長  
 三 敵機西進ニ依リ

作 命 北地作命甲第ニ號

北大東島地区隊命令  
 一 敵機西進ニ依リ一六八大東島地区空襲警報解除せらる  
 二 地已隊ハ電令ニ依リ丁砲戰備ニ移行セントス  
 三 各隊ハ一六八以降丁砲戰備ニ入ルヘシ

一 日二日一六八  
 池ノ下



四余ハ池ノ澤ニ在リ

北大東島地巴隊長

須永ヲ佐

須日命一明後日勅諭下賜記念日ニ方リ勅諭奉讀式ヲ行フ  
依而厄ノ通り心得ヘシ

左記

- 1. 各隊ハ。元。迄ニ海軍学校々度ニ東面シ併ニ機隊ノ二線(距離間隔ケシ)第一線中隊第一線重火器ハ第二線中隊(明)ハ二ヶ小隊他ハ一ヶ小隊編成重火器ハ小銃編成トス(集合スシ)
- 2. 式次第 官威造序 勅諭奉讀
- 3. 部隊指揮官 本日大尉
- 4. 履装ハ儀式ニ於ケル軍装(飲酒ヲ除ク)トシ有勲者ハ略綬佩用トス

人員 員本日ノ人員大隊長以下一。三〇名(行方不明者)軍犬ハ年初頭初減減見参ナリ 将兵ノ雅馴極メテ既感一發中ノ信念ニ密ニ戦ハスルニ敵ハ我カ射撃ト同時ニ遠早ヲ西方襲

道是セリ今年コソ成スル年ナルベシ北大東島ノ守念ニ最ナリ

一月 一日 於北大東島 行 事 一 元始祭 休務

一 南島連絡船大東丸 一四。入港 一五。出港又  
同船ニ于松田中尉着任ス

須日命一 (運也) 陸軍中尉 小酒 竹孝 三  
陸軍衛生隊長 大澤 徳 七

二 明三日一五。日。大東丸ニテ支々々々出發スヘシ  
陸軍々曹 藤澤 耕 平

電命 業務連絡ノタメ明三日ヨリ一泊ニ日ノ予定ヲ以テ部隊本部ニ出張ヲ命ス 依而明三日一五。日。大東丸ニテ出發スヘシ  
一 三日一。五。警備戒嚴ヲ發令  
二 大東島守備隊長  
三 敵ノ攻襲ヲ受クル算大ナリ

作 命 北地作命甲第三號

北大東島地区命令

一月三日二五〇日  
莫全山

- 一 本三日。九三。敵艦或機中艦島各飛行場ニ來艦セリ  
守備隊八一。五。大東島全地区ニ空襲警報ヲ發令セリ
- 二 地区部隊ハ電命ニ依リ乙號戰備ニ移行セントス
- 三 各隊ハ直ニ乙號戰備ニ移行スヘシ
- 四 附中队長ハ約半敵ヲ以テ對空射撃ニ任スヘシ
- 五 余ハ池ノ澤ニ在リ

北大東島地区隊長

須永少佐

電命

一 三日。八四。沖繩島ゴロク飛行場ヲ偵察中

二 〇九三。敵艦或機中艦島各飛行場ニ來艦

三 一〇五。大東島全地区ニ空襲警報發令

電命

一 一三一。空襲警報解除大東島全地区

二 大東島守備隊長

三 三日。百五。敵機助部隊決定位置「カウボー」東方百五十  
米ニ在リ

作

命

北大東島地区命令

北大東島地区隊長命令

池ノ澤

一 本三日。四三。敵機助部隊決定位置「カウボー」東方

一五。米ニ在リ

二 一三一。大東島全地区ニ空襲警報解除セラル

三 地区部隊ハ大東島守備隊長ニ基テ再戰備ニ移行セントス

四 各隊ハ一三一。以テ再戰備ニ入ルヘシ

五 余ハ池ノ澤ニ在リ

北大東島地区隊長

須永少佐

電命

一 四日。一五。警報解除

二 大東島全地区

三 大東島守備隊長

四 敵機未發見ノ事ヲニ依ル

五 沖繩本島機警ヲ

北大東島地区隊長命令

池ノ澤

一月四日  
北大東島  
偵察隊  
偵察隊

人員

- 一 敵機未襲ノ事ヤン
- 二 本日一五〇。大東島全地区に警戒警報解除セラル
- 三 地区隊ハ大東守電命ニ基テ了敵戦備ヲ移行セントス
- 四 各隊ハ一五〇。以降了敵戦備ヲ移行スヘシ
- 五 余ハ地区ノ率ニ在リ

北大東島地区隊長 須永少佐

本日ノ人員大隊長以下一〇三名(行方不明三)軍犬八

増 減 小島中隊 大東島に警戒隊を二増  
増 減 小島中隊 大東島に警戒隊を二増

一 勅諭奉讀式

〇九〇。全員校庭ニ集合ス

昨日二二〇敵機勅部隊測定位置中東島西南方

九〇。新 別ニ西々南方ニ在。新 各一隊アリ

本日日拂曉以降對空警戒式ヲ嚴ニスヘシ

〇八五。本島上空雲中ニ敵機飛遊ニ高度不明ノ飛行機

一機一八〇度方向ヨリ侵入ス。度ニ退行

情報  
命令

本四日〇七五〇。B29一機東北方ヨリ高度六〇〇。米東北進中ナリ  
北地作命甲第六號

北大東島地区隊命令

一月四日。八三〇。

一 本四日〇七五五敵B29一機大東島地区に襲撃ス。大東島

地区に警戒警報發令セラル

二 地区隊ハ電命ニ依リ内號戦備ニ移行セントス

三 各隊ハ〇八五〇。以降了敵戦備ニ入ルヘシ

四 余ハ黄金山ニ在リ

北大東島地区隊長

須永少佐

情報

軍通報

本四日一六〇。敵無線電傍受ニ依リ八五〇一〇〇。我々ハ母艦ヲ

出發スルト

ス。方向探知機ニ依リハ一七〇。敵機勅部隊ノ位置ハ宮古島

基央一八〇度ノ線上ナルモノ如シ

三月十五日。大日兩日間時ニ敵機式ヲ嚴ニスヘシ



須知

一 別紙計画ニ基キ第一回北大東島地区隊演習日ヲ實施ス

一 期 一 月 二 日 陸 軍 少 尉 持 田 包 雄

二 期 一 月 三 日 陸 軍 少 尉 村 田 静 吾

頭 書 一 間 巡 察 官 二 報 務 又 ハ シ

三 陸 軍 少 尉 奥 村 宗 一

一 月 二 日 八 日 守 備 隊 ニ 於 テ 行 々 演 習 日 見 學 ノ タ メ ニ 三 日 ノ 予 定 ヲ 以 テ 南 大 東 島 ニ 出 張 ヲ 命 じ

四 陸 軍 一 等 兵 村 上 壽 町 興

以下大各

昭和二十年度第一次幹部候補生採用試験受験ノ一南大東島ニ出張ヲ命ス

依而村上二等兵ノ引率ヲ以テ出發受驗終了後速ニ歸隊スヘシ 出發日時ニ関シテハ別命ス

三日及四日南西諸島ヲ空襲モル敵ハ米弟三八機動部隊ニシテ三群ヨリヤリ 全群ハ二月二十七日ハルシニ出港

情 報

三ノ以

第一回地区隊演習計畫

ニロ、下 四 要 求 部 隊

第一目的

北大東島ニ於ケル陸海軍(一部)部隊並島民ヲ等ケテ参加セシメ主トシテ

左記事項ニ関シ訓練ス

(主要演練事項)

一 戰備乙ヨリ戰備甲ヘ移行要領

二 戰備甲ヨリ主トシテ東南海岸方面ニ敵主攻ヲ予想セラルル場合、夜

間配備変更要領

三 陸海軍部隊相互、協同

四 陣地交通諸施設、点檢

五 島民指導

第二統監 補助官 茲參加部隊

一 演習ハ地区隊長統監ス

二 補助官

統監部

地區隊副官 古市少尉

陸軍側

各隊長(兼務)夫々部下部隊ヲ指導ス

一月五日——五日又八六日迄ニ南西諸島及台湾ヲ飛行場  
攻襲ノ企圖ヲ有スルト

人員 本日ノ人員大隊長以下一〇三名(行方不明)通單犬ハ  
所見 本日又モ本島ニ敵機進入セルモ雲中ニテ敵ヲ見ル得ヌ現  
出ノ瞬間ヲ捕捉シテ射撃スルモ襲撃ニ利非ス残念ナリ

一月五日  
於北支那島  
行 事

一前日ニテ續々兩號戰機  
ニ夕刻南島ト曰先機演習ヲ實施ス  
一圖令中地区調査勤務ヲ充記ニ依リ服務スヘシ

左記

- 一 上田隊 小隊隊ハ各隊毎週番番ト官以下トス
- 二 本隊部 松田隊 堤井隊 酒井隊ハ週番下ト官以下トス
- 三 部隊衛兵ハ大隊副官警備スルモノトス
- 四 別紙計畫ニ基キ担架修業火檢閱ヲ實施ス
- 五 一二三 彼我不明ノ飛行機ニモ度々ハ口度ニ爆音ヲ聽取スルモ

敵機來襲

電令

雲上ニシテ機影ヲ認メス

五日一六〇。警戒警報解除ス但シ厄ノ如キ情報アリテ警戒ヲ嚴テラシムヘシ

台湾東方海面ノ敵機動部隊ノ測定位置

第一群 145度 145度附近

第二群 同地 七〇度 一七〇度附近

第三群 沖繩列島南方トモ位置不明 晝間近接シ夜間高麗スルモ其ノ移動範圍ハ少クモノルシ(以上海軍通報)

北地作令甲第七號

北大東島地已隊命令 一月五日一六〇。池ノ澤

一敵機動部隊台湾東方海面ニ三郡測定シアリ

本五日一六〇。北大東島地已空襲警報解除セラル

一各地已隊ハ電令ニ依リ丁號戦備ニ移行セイトス

二各隊ハ尚警戒ヲ嚴ニシツト六〇以降丁號戦備ニ移行スヘシ

四余ハ池ノ澤ニ在リ

作令

北大東島地已隊命令

一月五日一六〇。池ノ澤

的

敵機動部隊ノ測定位置ノ確定

日 十 月

0900

1100

敵機動部隊ノ測定位置ノ確定  
一、敵機動部隊ノ測定位置ノ確定  
二、敵機動部隊ノ測定位置ノ確定  
三、敵機動部隊ノ測定位置ノ確定  
四、敵機動部隊ノ測定位置ノ確定  
五、敵機動部隊ノ測定位置ノ確定  
六、敵機動部隊ノ測定位置ノ確定  
七、敵機動部隊ノ測定位置ノ確定  
八、敵機動部隊ノ測定位置ノ確定  
九、敵機動部隊ノ測定位置ノ確定  
十、敵機動部隊ノ測定位置ノ確定

地 隊 北 地 隊

一、敵機動部隊ノ測定位置ノ確定  
二、敵機動部隊ノ測定位置ノ確定  
三、敵機動部隊ノ測定位置ノ確定  
四、敵機動部隊ノ測定位置ノ確定  
五、敵機動部隊ノ測定位置ノ確定  
六、敵機動部隊ノ測定位置ノ確定  
七、敵機動部隊ノ測定位置ノ確定  
八、敵機動部隊ノ測定位置ノ確定  
九、敵機動部隊ノ測定位置ノ確定  
十、敵機動部隊ノ測定位置ノ確定

備考 本計画甲ノ時間移動時間ヲ含ム

電令

雲上ニシテ機影ヲ認メス

五日一六〇。警戒警報解除ス但シ九ノ如キ情報アリテ警戒ヲ廢テラズヘシ

台湾東方海面ノ敵機動部隊ノ測定位置

第一群「ガラシロ」一五〇度一四五度附近

第二群同地七〇度 一七〇度附近

第三群沖繩列島南方トモ位置不明晝間近接シ夜間消滅スモ其ノ移動範圍ハ少クモ七〇シ(以上海軍通報)

北地作令甲第七號

北大東島地已隊命令

一月五日一六〇。 地 澤

一敵機動部隊台湾東方海面ニ現着定ニシテ

本五日一六〇。北大東島地已隊警報解除セラル

一地已隊ハ電令ニ依リ丁號戦備ニ移行セトス

一各隊ハ尚警戒ヲ嚴ニシテ六〇以降丁號戦備ニ移行ス

四余ハ池ノ澤ニ在リ

昭和二十年度担架隊業務檢閲計畫書

須永部隊

目的

担架隊業務之檢閲ニ於テ是等ノ點ヲ注意シ、救護運搬法ヲ檢スルニ在リ

備考	日	月	一
	0900	5	1100
水計画ノ時間ヲ為動時間ヲ令	目的	場所	備
	<p>一 担架隊ノ業務檢閲ニ於テ是等ノ點ヲ注意シ、救護運搬法ヲ檢スルニ在リ</p> <p>二 各隊ノ業務檢閲ニ於テ是等ノ點ヲ注意シ、救護運搬法ヲ檢スルニ在リ</p> <p>三 各隊ノ業務檢閲ニ於テ是等ノ點ヲ注意シ、救護運搬法ヲ檢スルニ在リ</p> <p>四 補助官</p> <p>五 松田中尉</p> <p>六 増田中尉</p> <p>七 市少尉</p> <p>八 各中隊長ハ主命日スルモトス</p>	<p>一 担架隊ノ業務檢閲ニ於テ是等ノ點ヲ注意シ、救護運搬法ヲ檢スルニ在リ</p> <p>二 各隊ノ業務檢閲ニ於テ是等ノ點ヲ注意シ、救護運搬法ヲ檢スルニ在リ</p> <p>三 各隊ノ業務檢閲ニ於テ是等ノ點ヲ注意シ、救護運搬法ヲ檢スルニ在リ</p> <p>四 補助官</p> <p>五 松田中尉</p> <p>六 増田中尉</p> <p>七 市少尉</p> <p>八 各中隊長ハ主命日スルモトス</p>	<p>一 担架隊ノ業務檢閲ニ於テ是等ノ點ヲ注意シ、救護運搬法ヲ檢スルニ在リ</p> <p>二 各隊ノ業務檢閲ニ於テ是等ノ點ヲ注意シ、救護運搬法ヲ檢スルニ在リ</p> <p>三 各隊ノ業務檢閲ニ於テ是等ノ點ヲ注意シ、救護運搬法ヲ檢スルニ在リ</p> <p>四 補助官</p> <p>五 松田中尉</p> <p>六 増田中尉</p> <p>七 市少尉</p> <p>八 各中隊長ハ主命日スルモトス</p>

北大東島地隊長 須永少佐

人員 本日人員大隊長以下三名(行方不明三名)軍犬八

隻

於北大東島

行

事

一 全員陣地構築作業

一 島民教練查閱 頭等

一 一五敵射一機一八〇度ヨリ侵入右ニ迂回三〇度退行

高度三〇〇之ト支隊又

一 一五三九一南大東島目下旋回中一ツリ高度五〇〇

頃日命

一 陸軍少尉

萩森慶弘

同

高橋一男

同

円法光男

同

村田静吾

陸軍少尉

西坂 中

同

松谷清太郎

留守業務整理ノ事(戦時名簿)留守留守者名簿(身正)



関係書類携行) 明七日ヨリ三日ノ予定ヲ以テ部隊本部ニ  
出張ヲ命ス

續日命追記

依而同日。九〇。鳴丸ニテ出發スヘシ

一月四日命令第三四號ノ者明七日〇八。〇。鳴丸ニテ出發スシ  
一竹森隊 陸軍一專兵 杉山傳平

長期療養ノ目的ヲ以テ明七日南大東島置第五七五部  
隊ニ入院ヲ命ス

依而同日。九〇。鳴丸ニテ出發スヘシ  
三竹森隊 陸軍衛生上等兵 森田政治

前項患者看護送進衛生材料受領ノ事ト明七日即日歸  
隊ノ予定ヲ以テ南大東島ニ出張ヲ命ス

依而同日。九〇。鳴丸ニテ出發スヘシ  
本六日一五三五被我不明一機一八〇度——九〇度ノ海面上ヲ  
飛行 高度三〇〇

人員 本日ノ人員大隊長以下一〇三名(行方不明面)軍六八

敵機來襲

三月一日

相模

三月一日、敵機來襲、我機迎撃、敵機一機、我機に追いつき、地上に墜落、我機は追跡せず。

三月二日、敵機來襲、我機迎撃、敵機一機、我機に追いつき、地上に墜落、我機は追跡せず。

三月三日、敵機來襲、我機迎撃、敵機一機、我機に追いつき、地上に墜落、我機は追跡せず。

三月四日、敵機來襲、我機迎撃、敵機一機、我機に追いつき、地上に墜落、我機は追跡せず。

三月五日、敵機來襲、我機迎撃、敵機一機、我機に追いつき、地上に墜落、我機は追跡せず。

三月六日、敵機來襲、我機迎撃、敵機一機、我機に追いつき、地上に墜落、我機は追跡せず。

三月七日、敵機來襲、我機迎撃、敵機一機、我機に追いつき、地上に墜落、我機は追跡せず。

三月八日、敵機來襲、我機迎撃、敵機一機、我機に追いつき、地上に墜落、我機は追跡せず。

三月九日、敵機來襲、我機迎撃、敵機一機、我機に追いつき、地上に墜落、我機は追跡せず。

別紙第二

指導要領

附主要訓練事項

経	過	陸軍部隊	地方側
<p>七日</p> <p>一 一三〇。遠敵備丙態勢演習開始、共敵備乙下令</p> <p>二 一六〇。敵備甲下令</p> <p>三 一八〇。情況第一</p> <p>四 一九〇。配備変更命令</p>	<p>一 全上命令ニ基、行動</p> <p>二 情報速達訓練</p> <p>三 命令ニ基、夜間機動要領</p>	<p>一 敵備乙及敵備甲へ移行要領</p>	<p>一 協同</p> <p>二 老若婦女子ノ處理</p> <p>三 彈藥糧秣補給 傷者収容要領</p>
<p>八日</p> <p>一 一〇〇。情況第二</p>	<p>一 一部敵ヲ訓練</p>		
<p>備考</p> <p>一 細部ノ各補助官ニ於テ應、宣狀況ヲ設、テ指導スルモノトス</p> <p>二 演習終盤ノ應、宣狀況ヲ</p> <p>三 地方側ノ指導官ノ各守備隊長及隊本部中隊平時、應令ニ依、テ指導スルモノトス</p> <p>但シ第一分團ノ指導官ノ竹林隊長トス</p>			

所見

第一回島民軍事教練查閱ヲ實施ス 參集スルモノ約三百  
成績總ニテ良好ニテ名實共ニ軍民一致ノ實ヲ示セルヲ  
得タリ

七日

於北大東島  
行

一 連絡船鴻丸。九〇。出港 一六〇。飯港  
同船ニテ森森准尉以下十五名出港ス  
一 一〇。ヨリ海軍鈴木隊故上水野田寛告別式 部隊長  
副官參列ス

演習

三 第一回北大東島地区隊演習  
一三〇。(演習内號下令) 狀況開始

演習概況

一 想定  
二 指導要領及着眼 別紙

人員

本日ノ人員大隊長以下一三三名(行方不明五) 軍六八

八日

於北大東島  
行

一 前日ニ引續テ演習

人員

二〇九〇。演習終了兵器被服ノ手入休養ス  
本日ノ人員大隊長以下一〇三名(行方不明二回)軍大八  
七八日兩日ニ亘リ第一回地陸演習ヲ實質施ス陸海軍共  
極メテ真心ニ從事シ特ニ島民ノ協力ヲ懇望以上ノ真劍味ヲ  
テ良好トシキニ備ケル莫クテ少シトモモ將兵以下本  
演習日ニテ必勝ノ信念ヲ愈々堅固トラシム得タリ

一各隊陣地構築作業

一月九日  
於北大東島  
行電

一各隊陣地構築作業  
一 本九日〇九〇。沖繩本島空襲警報發令セラル  
九日〇七二〇沖大東島ニ行ク機東南方ヨリ北ヨリハ  
二 友軍潜水艦ニ三〇度方向ヨリ西進中誤認セラル様注意  
一 四〇二五〇度友軍潜水艦一浮上右行中距離八〇〇米  
一 別紙計画ニ基キ部隊被服検査ヲ實施ス  
一 十一月十三日命令第四項別紙中觀測ヲ教習教官小西中尉トアルヲ松田中尉ニ變更ス

△發見  
續日命

十一月二十二日命令第四項別紙  
中尉トアルヲ松田中尉ニ變更ス

### 被服検査計畫書

**目的**  
 物資ノ不足ト晝夜ヲ分タ又昼夜作業モ併マテ追送補給ノ至難ナル現況ニ鑑ミ補修手入ニヨリ之ヲ保存命数ノ延長ヲ計ルト共ニ高温多濕ナル地ニ於ケル手入保存茲ニ之ヲ格納ノ状況ヲ檢シ其ノ良況ヲ保持セシメ以テ戦力ノ高度發揚ニ遺憾ナキヲ期ス

考 備	任務分担	16/1				15/1						時間	場所	受檢区	検査品目	着 眼	摘 要		
		1400	1200	1000	700	1500	1320	1230	1130	1030	900							700	
一各配属小队ノ配属中隊ニ於テ受檢スルモノトス 二各隊ハ検査前日會報時迄ニ受檢品目員數表ヲ本部ニ提出ス 三各隊長係將校 係下士官 兵共ニ各々自ラモモニトス 四講評ハ全中隊終了後實施ス 細部ハ別ニ示ス	將 校 下 士 官 任 務 分 担	大夫知少尉	前田少尉	橋本経技曹長	多羅尾主計曹長	竹林上等兵	山崎上等兵	中野上等兵	山崎上等兵	山崎上等兵	山崎上等兵	山崎上等兵	山崎上等兵	山崎上等兵	山崎上等兵	山崎上等兵	山崎上等兵	山崎上等兵	
		第四工場	白崎隊	第二工場	第一工場	竹林隊	共舎前	本 部	酒井隊	(昼 食)	滝井隊	松田隊	上田隊	書 類	補修手入ノ適否	受檢ノ細部實施要領ハ各隊計画スルモノトス			
		飯 食	飯 食	飯 食	飯 食	飯 食	飯 食	飯 食	飯 食	飯 食	飯 食	飯 食	飯 食	飯 食	飯 食	飯 食	飯 食	飯 食	飯 食
		被 甲	被 甲	被 甲	被 甲	被 甲	被 甲	被 甲	被 甲	被 甲	被 甲	被 甲	被 甲	被 甲	被 甲	被 甲	被 甲	被 甲	被 甲



十一月十三日 命令 中尉トイテ...

被服検査計畫

目的 物資ノ不足ト晝夜ヲ分タ又猛作業モ併マテ進送補給ノ至難ナル現況ニ鑑ミ補修手入ニヨリ之カ保存命数ノ延長ヲ計ルト共ニ高温多湿ナル地ニ於ケル手入保存益之カ格納ノ状況ヲ檢シ其ノ良況ヲ保持セシメ以テ戦力ノ高度發揚ニ遺憾ナキヲ期ス

備考	備	任務分担	16/1				15/1				時間	場所	受檢区	検査品目	着眼	摘		
			1400	1200	1000	700	1500	1320	1230	1130							900	700
			5	5	5	5	5	5	5	5							5	5
			1600	1300	1200	900	1700	1400	1320	1230	1130	1130	1130	900	900			
			前田少尉	橋本経技曹長	山本上等兵	山本上等兵	山本上等兵	山本上等兵	山本上等兵	山本上等兵	山本上等兵	山本上等兵	山本上等兵	山本上等兵	山本上等兵	山本上等兵		
			大夫知少尉	橋本経技曹長	山本上等兵	山本上等兵	山本上等兵	山本上等兵	山本上等兵	山本上等兵	山本上等兵	山本上等兵	山本上等兵	山本上等兵	山本上等兵	山本上等兵		
			将校	下士官	兵	全般	全般	全般	全般	全般	全般	全般	全般	全般	全般	全般		
			庭々校學小	庭々校學小	庭々校學小	庭々校學小	庭々校學小	庭々校學小	庭々校學小	庭々校學小	庭々校學小	庭々校學小	庭々校學小	庭々校學小	庭々校學小	庭々校學小		
			上田隊	松田隊	淡井隊	(昼食)	酒井隊	本部	竹林隊	竹林隊	竹林隊	竹林隊	竹林隊	竹林隊	竹林隊	竹林隊		
			善類	ハ維形ノ編上靴	略衣袴	靴張	飯盒	鉄帽	被甲	熱地用	輕防	飯包布						
			補修手入ノ適否	員数	員数	員数	員数	員数	員数	員数	員数	員数	員数	員数	員数	員数		
			受檢ノ細部	受檢ノ細部	受檢ノ細部	受檢ノ細部	受檢ノ細部	受檢ノ細部	受檢ノ細部	受檢ノ細部	受檢ノ細部	受檢ノ細部	受檢ノ細部	受檢ノ細部	受檢ノ細部	受檢ノ細部		

備考  
 一各配屬小隊ノ配屬中隊ニ於テ受檢スルモノトス  
 二各隊ノ検査前日會報時進ニ受檢品目員數表ヲ本部ニ提出ス  
 三各隊長係將校係下士官兵若シテ名生合日スレモノトス  
 四講評ハ全中隊終了後実施ス 細部ハ別ニ示ス

三 本田 隊 陸軍上等兵 伴場 定義

縫紮工兵特業教育助手ヲ命ス

人員 本日人員大隊長以下一〇三名(行方不明者)軍火八  
所見 末島以來初メテ友軍潜水艦一迫海航行 其ノ勇武甚ク  
懐シシ湯忽タルモ一ヲ感ス

行於東京島 事 一 全員陣地構築作業

二 構築修業兵檢閲 〇八〇〇一〇〇〇

三 陸軍工兵修業教育 本日ヨリ開始ス

須日命 兵科見習士官 山口 珍 警官

至一月五日 間 巡察官ヲ村田 雅尉ト交代服務スヘシ

早日命 一 須永隊 陸軍上等兵 織田 朗以下五名

一 須永隊 陸軍一等兵 吉村 敬忠以下五名

陸軍上等兵ヲ命ス

平日命  
一九

一 校正八位

陸軍少尉 古市秀雄

二 陸軍中尉 上田廣輝

同 淺井 寛

同 小林 幹

同 森本 義治

情電

一 等級下賜 (昭和十九年九月五日附)

軍通報ニヨレバ昨日沖繩島及宮古島近海ニ疎ノ潜水艦四隻ヲ認め、右何レモ撃沈スル能ハズセリ

人員 本日ノ人員大隊長以下一〇三名(行方不明面)大隊長ハ

一月 十日  
於北東島  
行 事

一 全員陣地構築作業

二 連絡船鴨丸。九日に出港 一七時。歸港

三 三〇度方向ニ友軍難破船ヲ發見ス

陸海協同人命ノ救助ニ努ムル船員五名救助成功セリ

須日命  
一  
運 送

陸軍主計軍曹 多羅尾 順藏

陸軍技術軍曹 中園 秀雄

業務連絡ノタメ明日十一日ヨリ一日ニテ定ヲ以テ部隊本部ニ出張ヲ命ス

依而明日十一日。九。鴨丸ニテ出發スベシ

一 陸軍兵長 瀬崎 貞吉

須永部隊ノ配属ヲ解ク

依而明日十二日。八。鴨丸ニテ出發原所屬ニ復歸スベシ

一 陸軍大尉 本田 義一

守備隊演習見學ノタメ明日十二日ヨリ三日ニテ定ヲ以テ

南大東島守ニ出張ヲ命ス

依而明日十二日鴨丸ニテ出發スベシ

一 至一月十八日 兵科見習士官 江連 徳

至一月二十日 同 柴田 文三郎

至一月三十日 同 須書ノ門巡察官ニ服務スベシ

四中地区週勤勤務ヲ一部元ノ週リ變更ス  
花 記

一、本部週勤官一(日)ノ週リ(三)名(服務)  
二、本部週勤官ハ部隊衛兵ヲ指揮スルトス  
本日ノ人員大隊長以下一三三名(行方不明區)單六ハ  
海軍二類時大隊長原隊後勤ニ依リ

一、全員陣地構築作業  
二、連絡船鳴丸 一〇二〇號港 一七三〇號港

北地作命第一號 一月二日二時

一、地区隊ハ大東守令ニ基キ陣地線合構築ヲ實施セントス  
二、各隊ハ別紙計圖ニ基キ構築ヲ實施ス

北大東島地区隊長 須永少佐  
本日ノ人員大隊長以下一〇三三名(行方不明區)單六ハ

人員

作命

一月二日  
北大東島  
行事

人員

# 北木家島地蔵の造装計画

昭二〇・一・一  
北木家島地蔵

地蔵の造装に際しては陣地の造装を絶えず補備増進の巧に陣地周囲の地蔵の造装に資する

考	其 工 物	概 述	造 装 材 料	造 装 方 法	考 慮 事 項	陣 地 の 造 装		
						領	要	
一、造装の法、細長計のウ、下、シ、リ、ト、サ、セ、ニ、定、テ、ラ、明、得、カ、リ、レ、場、合、ラ、モ、包、含、ス 二、造装網其の地時殊材料ニ依ルモノハ別ニ示ス 三、各隊長ハ本計画ニ依ル実施ノ状況ヲ一月以降毎月末報告ス 四、山石石地ノ爲装ハ、漆油、若シハ、燻染ニ依ルモノトス	雑草類	積土ハ上記植物ヲ利用シ交通壕連接部或ハ開口部ハ陰影消滅ノ爲樹木灌木ヲ苗付又ハ移植ス	積土ハ上記植物ヲ利用シ交通壕連接部或ハ開口部ハ陰影消滅ノ爲樹木灌木ヲ苗付又ハ移植ス	右 同	右 同	右 同	右 同	
	雑草類	積土ハ上記植物ヲ利用シ交通壕連接部或ハ開口部ハ陰影消滅ノ爲樹木灌木ヲ苗付又ハ移植ス	積土ハ上記植物ヲ利用シ交通壕連接部或ハ開口部ハ陰影消滅ノ爲樹木灌木ヲ苗付又ハ移植ス	右 同	右 同	右 同	右 同	
	雑草類	積土ハ上記植物ヲ利用シ交通壕連接部或ハ開口部ハ陰影消滅ノ爲樹木灌木ヲ苗付又ハ移植ス	積土ハ上記植物ヲ利用シ交通壕連接部或ハ開口部ハ陰影消滅ノ爲樹木灌木ヲ苗付又ハ移植ス	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
	雑草類	積土ハ上記植物ヲ利用シ交通壕連接部或ハ開口部ハ陰影消滅ノ爲樹木灌木ヲ苗付又ハ移植ス	積土ハ上記植物ヲ利用シ交通壕連接部或ハ開口部ハ陰影消滅ノ爲樹木灌木ヲ苗付又ハ移植ス	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
	雑草類	積土ハ上記植物ヲ利用シ交通壕連接部或ハ開口部ハ陰影消滅ノ爲樹木灌木ヲ苗付又ハ移植ス	積土ハ上記植物ヲ利用シ交通壕連接部或ハ開口部ハ陰影消滅ノ爲樹木灌木ヲ苗付又ハ移植ス	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
	雑草類	積土ハ上記植物ヲ利用シ交通壕連接部或ハ開口部ハ陰影消滅ノ爲樹木灌木ヲ苗付又ハ移植ス	積土ハ上記植物ヲ利用シ交通壕連接部或ハ開口部ハ陰影消滅ノ爲樹木灌木ヲ苗付又ハ移植ス	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同



日本米穀聯合進装計画

昭和十一年一月一日

戦時ノ要求ニ果テ陸軍ノ爲装ヲ總テス補備増進ノ巧ニ陣中同國ノ地  
 産地物ノ調和ヲシテ全島ノ底圓化ノ進テ向活ハ戦力増進ニ資ス

陣中ノ種類	産地物	産地物	産地物	産地物	産地物	産地物
甘藷 サトウ アサヒ その他	甘藷 サトウ アサヒ その他	甘藷 サトウ アサヒ その他	甘藷 サトウ アサヒ その他	甘藷 サトウ アサヒ その他	甘藷 サトウ アサヒ その他	甘藷 サトウ アサヒ その他
甘藷 サトウ アサヒ その他	甘藷 サトウ アサヒ その他	甘藷 サトウ アサヒ その他	甘藷 サトウ アサヒ その他	甘藷 サトウ アサヒ その他	甘藷 サトウ アサヒ その他	甘藷 サトウ アサヒ その他
甘藷 サトウ アサヒ その他	甘藷 サトウ アサヒ その他	甘藷 サトウ アサヒ その他	甘藷 サトウ アサヒ その他	甘藷 サトウ アサヒ その他	甘藷 サトウ アサヒ その他	甘藷 サトウ アサヒ その他
甘藷 サトウ アサヒ その他	甘藷 サトウ アサヒ その他	甘藷 サトウ アサヒ その他	甘藷 サトウ アサヒ その他	甘藷 サトウ アサヒ その他	甘藷 サトウ アサヒ その他	甘藷 サトウ アサヒ その他
甘藷 サトウ アサヒ その他	甘藷 サトウ アサヒ その他	甘藷 サトウ アサヒ その他	甘藷 サトウ アサヒ その他	甘藷 サトウ アサヒ その他	甘藷 サトウ アサヒ その他	甘藷 サトウ アサヒ その他

考 併  
 一 進装計画其ノ他材料ニ依ルモノハ別ニ示ス  
 一 各隊長ノ本計画ニ依ルモノハ別ニ示ス  
 一 山岳地ノ爲装ハ 陸軍本部ニ依ルモノトス

前 十日  
行 大東島 事

一 全員陣地構築作業

二 一〇〇〇リ警備會報 一三〇。地已隊演習講評

三 連絡船鳴丸 〇九二〇 出港 一七四五 歸港

南島大東丸 一三五八 入港 一五二六 出港

(海軍砲積賣)

須日命進出

一 須永隊 陸軍上等兵 坂本 明

書類筆領ノリノ明十日即日歸隊ノ予定ヲ以テ部隊

本部ニ出張ヲ命ス

依而明十三日〇八三〇鳴丸ニテ出發スヘシ

須日命

一 陸軍大尉 竹林利孝

演習見學ノリノ明十四日ヨリ一泊ニ日ノ予定ヲ以テ南大東

島ニ出張ヲ命ス

依而明十四日〇八三〇鳴丸ニテ出發スヘシ

人員

本日ノ人員大隊長以下一〇三ニ名(行方不明區)單六八